

関係者各位

第 2 回の最優秀賞に東芝「マンガ生活塾 省エネ・節電編」が決定

(財)消費者教育支援センター(会長・加藤一郎 理事長・宇野政雄)が企業・業界団体を対象に実施した「第 2 回消費者教育教材資料表彰」の最優秀賞に(株)東芝「マンガ生活塾 省エネ・節電編」が決定しました。

この制度は企業・業界団体が作成した資料のうち、学校等の消費者教育現場で活用できるものを表彰する制度で、平成 9 年度より隔年で募集しております。第 2 回表彰(平成 11 年度)では、35 の企業・団体から 3 部門(印刷資料部門、視聴覚資料部門、ホームページ部門)合計で 50 数点の応募があり、そのうち 12 点が優秀賞に決定しました。このたび最優秀賞の選出にあたっては、学校現場等でご活用いただいた感想をもとに選考委員会で決定しました。「内容が優れている」「ひとつの項目を見開き 1 ページにおさめていて使いやすい」「企業色がほとんど見られない」などの感想が寄せられ、教育現場において高い評価を得ました。

5 月の消費者月間には、第 3 回消費者教育教材資料表彰の優秀賞授賞式とあわせて表彰式を開催する予定です。関係各位にお知らせいただきたくご案内申し上げます。

(財)消費者教育支援センター
〒151-0053
東京都渋谷区代々木 5-64-5-101
TEL03-5454-3091 FAX03-5790-5340
URL <http://www.mesh.ne.jp/nice/>

お問合せ先 研究員 柿野成美
e-mail nice05@mtj.biglobe.ne.jp

第2回消費者教育教材資料表彰(企業・業界団体編)

最優秀賞

<印刷資料部門>

「マンガ生活塾 省エネ・節電編」

株式会社 東芝

資料の紹介

本資料は、ちょっとした工夫でできる省エネ・節電術を、主人公の倉志野(くらしの)一家の4コマ漫画を通して、おもしろおかしく効果的に展開している。16の家電製品ごとに省エネのポイントを解説しており、全体で40項目の省エネ術を学ぶことができる。

たとえば、テレビの主電源はこまめに切ったほうがよいこと、炊飯器は1日1回まとめて炊いて保温しておくより、わけて炊いたほうがよいこと、洗濯物のまとめ洗いで2回から1回にすると、33%の省エネになる、などの知恵を知ることができる。

このような身近な省エネ術の話題をきっかけに、いくら節約できたかという家計の視点や、地球環境の視点に立った学習のヒントがいたるところに隠されている。生徒に配布して使用することはもちろん、教員の教材研究用としても使用できるだろう。4冊のシリーズになっており、他には「家電製品のお買い物相談編」「ご注意編」「家電製品の点検・お手入れ編」がある。(1冊200円)



お問合せ先

(株)東芝 CS 推進センター 家電ご相談センター 電話 03-3457-3556